

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズボンド佐千原		回答職員	9/9	公表日	令和8年2月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・走り回るなどの遊ぶスペースがある	・ケガにならないよう気をつけていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・規定配置を守って運営しております	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・段差がない ・防犯カメラを設置しており、子どもたちの様子を検証することができる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・毎日アルコール消毒で壁や玩具などを拭いている ・掃除機をかけた後にスチーマーをかけている ・室内除菌の装置を一晩中つけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・時間指定の高学年用部屋を提供している	・必要に応じて、ついでで囲いをして、独りの環境を提供していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・支援計画の目標を把握し記録に残し、問題があった時にはその日の内に話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・保護者の評価を受け、良い点、直す点を職員に伝え、話し合っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎日ミーティングをしている ・職員の意見を聞き、話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		・第三者委員会は設置していない ・第三者委員会は設置していないが、福祉科や相談支援事業所等の意見を参考にしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・本部研修、顧問を招いての講習に定期的に参加している ・市の研修会にも参加している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・ホームページに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・モニタリング、ASISTやVineland-II、記録を参考に職員と話し合い、SVの指導のもと支援計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・個別支援計画案作成後、職員と担当者会議を開催し、支援方針を共有して理解の下でこどもの最善の利益を考慮している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・当日利用するこどもの支援計画を確認し、支援目標に沿って行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・フォーマルアセスメントでは、ASISTやVineland-IIといった標準化されたツールを使用している ・日々の行動観察は、毎日記録している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・個別支援計画には、「本人支援」とともに「家族支援」「移行支援」の支援内容も記載している ・具体的な支援内容も記載している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・職員で話し合って決定している	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・固定化されないようAIを活用したり集団遊びの内容やイベントなど職員で案を出しあっている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個別に関しては保護者様とこどもの意向を取り入れている ・集団においては怪我をしないようムリのないよう配慮している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・受け入れ前にミーティングを毎日行っている ・一日の流れや送迎の確認など職員で情報共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・送迎からの掃除や個々の教務で出来ない時には、次の日に気付いた点や子どもにあった支援などを職員に伝えている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・個別支援記録は、計画書の支援目標に沿った内容を記載するように心掛けている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・半年に一度はモニタリングを行い、中間評価を行い、必要な見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供、の複数を組み合わせた活動を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・活動によっては、自己決定をする力を育てることに重点を置くよう心掛けている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・主に児発管が参加している	・児発管だけでなく、職員も会議に望みたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・福祉課や教育機関と連携をとっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・毎月、キッズボンド通信をお渡ししている ・時間が間に合わない場合には、学校に電話を入れている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			・取り組めていないので、今後情報共有と相互理解に努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		・障がい福祉サービス事業所と連携を取って情報共有していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		・児童発達支援センターと連携を取ったことはないで、機会を設けていくよう努めていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・地域の行事（桃花祭やごみゼロ運動）に参加している ・夏祭りイベントでは、地域の子ども会にお誘いをする	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		・自立支援協議会に参加できていないので、参加していくよう努めていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳で日々の様子をお伝えし、家庭での様子も共有できている ・必要な場合は、相談支援や送迎時に伺っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・モニタリング、親子イベント、茶話会の時、保護者様からの要望があった場合にお伝えしている	・ペアレントトレーニングはあまり行っていないので今後は積極的に取り組むよう努めていく	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に口頭で説明している ・いつでも閲覧できるように入口にファイリングしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・子どもの意思を最優先に考え、家族の意向も反映させながら計画書を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・完成した計画書を提示し丁寧に説明後、同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・ラインや電話での相談、内容によっては来ていただき話しを伺っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		・年に3回親子イベントを開いており、家族連れの（きょうだい）参加も承っている ・年に2回茶話会（保護者のみ）も開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・迅速に対応し、早期解決に取り組んでいる	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・毎月、キッズポンド通信と活動予定表をご家庭にお渡ししている ・FacebookやInstagramに活動の様子をアップし共有している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・書類はすべて鍵付きの書庫で管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・保護者に連絡をとりながら支援し、配慮を心掛けている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		・行事開催には、町内会長様と子ども会会長様にお伝えしている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・マニュアルを策定し本部主導で、訓練や研修を行っている ・マニュアルに関しては、閲覧できるように入口にファイリングしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・避難訓練は毎月行っている ・BCPは策定済みである ・必要な研修や訓練も行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・フェイスシートにて確認している ・職員に周知し共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・保護者と話し合い、対応している	・保護者にお伝えし、医師の指示書をもらうようにしていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・安全計画は作成済みである ・研修計画にそって、必要な研修や訓練も行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・キッズポンド通信やSNSで周知共有している ・いつでも閲覧できるように入口にファイリングしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・月に必ずヒヤリハットを提出し、再発防止の為に共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・虐待防止の研修や委員会を開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・契約時に説明している ・身体拘束適正化委員会を設置している ・必要な研修や訓練を行い、重要事項説明書に明記している		